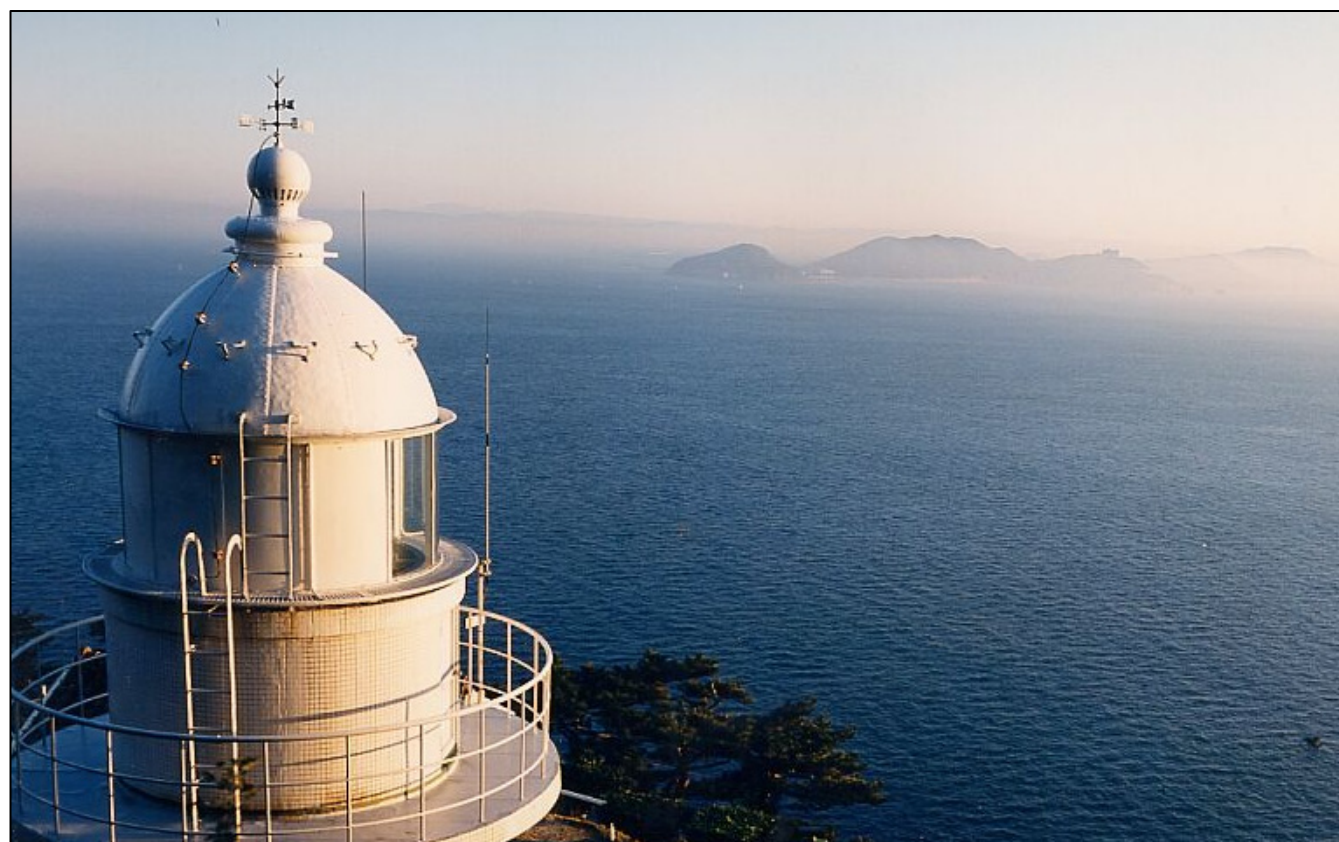


魅力

自然 歴史・文化  
体験・イベント

## 海の資源と文化を活用し、創意工夫ある取り組みにより滞在力を強化

離島、漁村集落、海女、真珠などの独特の地域資源や、200軒を超える宿泊施設があり、伊勢志摩地域で随一の宿泊滞在拠点として、海洋資源の活用と地元の旅館、商工会議所、観光協会の協力により、滞在力を強化。その結果、年間の宿泊者数は200万人前後を確保。



三島由紀夫が小説「潮騒」の中で、神島で最も美しい場所のひとつと称えた灯台からの眺望

### 入込客数

平成14年(2002)	485万人
平成15年(2003)	508万人
平成16年(2004)	494万人
平成17年(2005)	488万人
平成18年(2006)	503万人

### 宿泊者数

平成14年(2002)	190万人
平成15年(2003)	209万人
平成16年(2004)	206万人
平成17年(2005)	198万人
平成18年(2006)	210万人

鳥羽市観光統計

取組

PR・誘致活動 案内・情報提供 景観保全・環境整備 人材育成  
体験・イベント開催 広域連携の促進

### エコツアーの実施



無人島での磯観察

離島を主なフィールドに、無人島での磯観察や島の路地裏散策などを実施。遊びながら自然環境や離島文化を学ぶことができるため、小学校の教育旅行の受け入れも多い。ツアーを主催する海島遊民クラブの代表は鳥羽の老舗旅館の若女将という顔を併せ持ち、旅館に隣接する場所にインフォメーションセンターを開設してエコツアーや市内の観光情報の提供を実施。

### 海女文化の活用

鳥羽商工会議所が中心となり、伊勢志摩地域で最も多くの海女がいる相差(おうさつ)地区(140人:海の博物館平成19年調査)に、現役の海女の話聞きながら食事をする「海女小屋相差かまど」と、海女に関連した資料を展示する「海女文化資料館」を整備。外国人観光客も訪れる新たな観光スポットとして定着しつつある。



海女小屋体験

### 真珠婚式の実施

明治時代に御木本幸吉(みきもとこうきち)が世界で初めて真珠の養殖に成功した地として知られる鳥羽。鳥羽市観光協会では、毎月30日に結婚30周年の夫婦を迎え、チャペルでの真珠婚式(30回目の結婚記念日)を実施。子供や孫を連れた家族旅行を兼ねての参加という夫婦も多く、年間100組以上が式を挙げる。



真珠婚式の様子

### 誘客活動の広域連携

三重県・伊勢市・鳥羽市・志摩市の官民が連携し、広域での誘客宣伝事業「伊勢志摩キャンペーン“美し国、まいろう。伊勢・鳥羽・志摩”」を実施。焼き牡蠣やドリンクのサービス、オリジナルグッズのプレゼントなど、約70の対象施設におけるお得な特典情報を掲載した伊勢志摩広域のガイドブックを作成。

三重県鳥羽市農水商工観光課観光戦略室  
TEL:0599-25-1157 URL:http://www.city.toba.mie.jp/kanko/

滞在力のある観光地